

町田市 S.C.「健康・生活アンケート」結果報告（抜粋）

アンケート実施期間：25年1月9日～2月22日

平成18年度から全会員を対象に毎年実施している「健康・生活アンケート」の第8回(平成25年)の結果の一部をご報告いたします。ご協力ありがとうございました。

1. 全会員について

アンケート内の【会員であることの意味(メリット)】という項目を分析しました。その結果、「健康維持」「生きがいを得る」については約80%の会員がセンターに属するメリットを実感していました。「友人との交流」「地域の役に立つ」「生き方考え方が広がる」については、メリットを実感できたと回答した会員が約60%にとどまりました(表1)。しかし、平成22年に行われた全国シルバー人材センター事業協会の全国調査の結果と比較すると、この3項目についても、全国の会員よりも高い割合の会員がセンターに属するメリットを感じていました(表2^{*1})。特に、「地域の役に立つ」「生き方や考え方が広がる」については、全国の会員と比較しても倍以上の実感を得られていました。

※1. 全国シルバー人材センター協会の調査項目に「自分の知識や技能を活かすことができる」「家族関係が良好になる」は含まれていないため、分析から除外しました。

表14

会員であることの意味
(n=1,857)

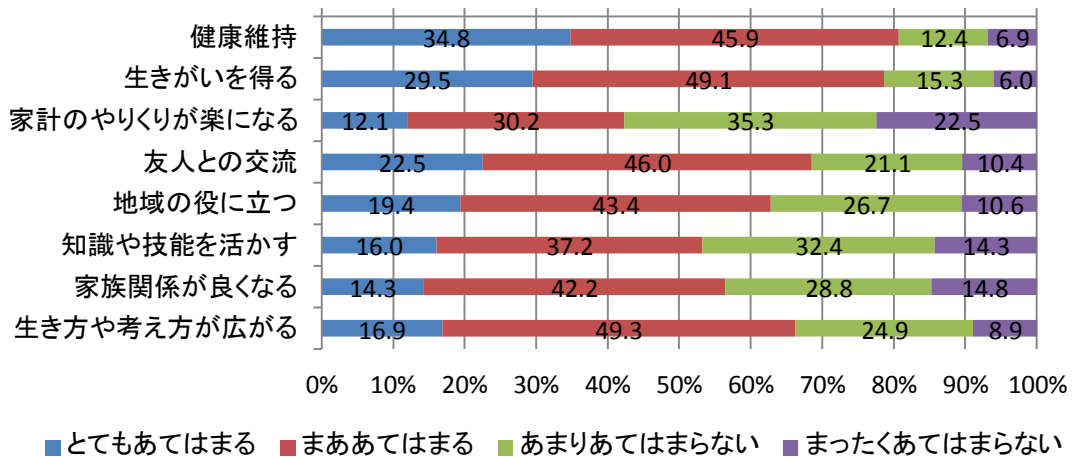
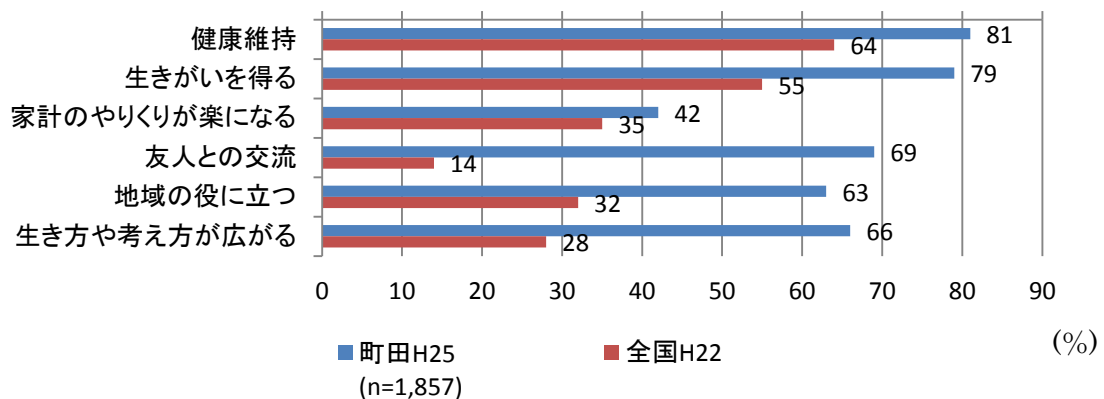


表24

会員であることの意味
全国との比較



2. 新入会員について

対象を1年前の新入会員^{※2}に絞って、入会時（H24年実施）の回答結果とその1年後（H25年実施）を比較して、期待と現実（結果）の差を明らかにしました^{※3}。

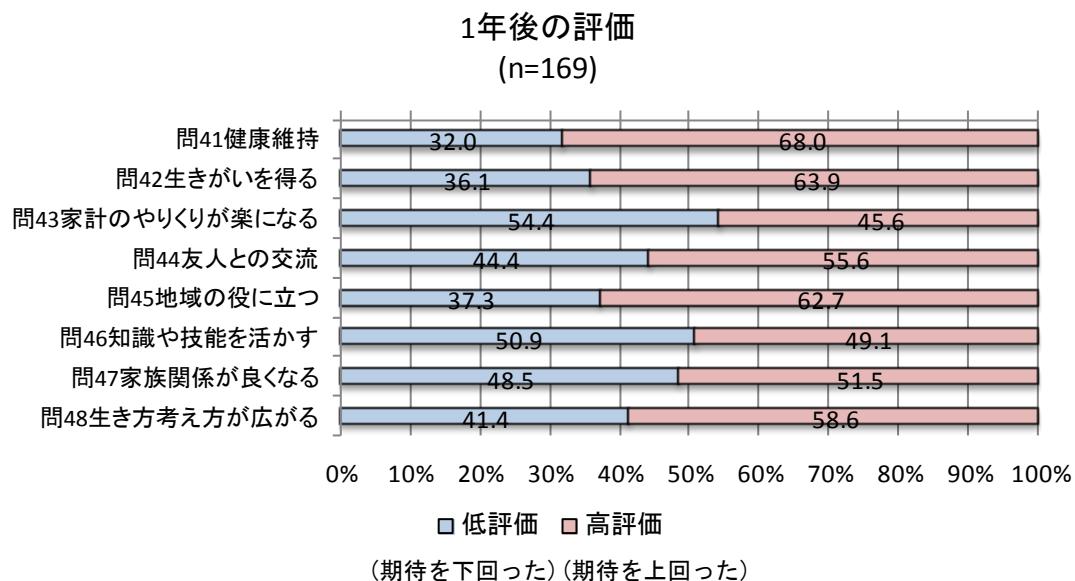
その結果、「健康維持」では約70%、「生きがいを得る」「地域の役に立つ」についても約60%の新入会員が入会当初の期待を上回る評価でした。しかし、「家計のやりくりが楽になる」「知識や技能を活かす」は、期待を下回ったと回答した会員が50%を超えました。

高評価（期待を上回る評価）項目については、それを維持できるよう努める必要があります。低評価（期待を下回る評価）項目については、新入会員や入会希望者が抱えているセンターへの期待と実際とのずれを修正することが必要です。

※2.平成23年度に入会し、平成24年1月実施のアンケートに回答した会員を本報告書では新入会員と定義しました。

※3.前年に引き続き、高評価を維持した会員は高評価、低評価を維持した会員は低評価に振り分けています。

表 33



アンケートを継続的に実施していくことで、日々変化する会員のセンターへのニーズを明らかにすることができます。さらに、会員の健康状態を追跡し、変化を把握することもできます。今後も、心身ともに会員の満足度があがるよう貢献できればと思います。分析を続けていきたいと思っております。

(分析：ダイヤ高齢社会研究財団)